

キミカ 欧州新拠点でシエア拡大へ

「キミカヨーロッパ」ドイツに設立

キミカはこのほど、ドイツ・デュッセルドルフにキミカヨーロッパ（KIMICA Europe GmbH）を設立した。欧州地域において食品・医薬分野に向けたアルギン酸製品の市場拡大を図る。また、同法人設立に合わせ、オランダ・ロッテルダムに製品在庫を置くことで受注から納品までの時間を大幅に短縮する。この2拠点の設置により営業活動の効率化とコストダウンを図り、欧州でシエア拡大を目指す。

世界で最も大きな市場をもち、食品のほかにも、医薬品原材料の需要が大きい。しかしこれまで、受注してから製品を送送しており、到着までに2〜3カ月を要していた。こうしたことから、現地採用の常駐担当者と製品在庫を置くことで効率化とリードタイムの短縮を図り、チャンスロスを防ぐとともに、新たな市場を開拓することを目指す。

同社は、グループの売上高を2020年までに100億円とすることを目標に掲げている。欧州のシエア拡大と千葉フランド（千葉県富津市）の拡張、ラボの新設でアルギン酸製品の需要増への対応と新規需要の創出を図り、目標達成に繋げる意向だ。